



考える子
思いやる子
鍛える子

滑川町立福田小学校 学校だより

おおくす 大楠

R1.9.1 現在
児童数159名
R2. 2. 3号
滑川町福田1660-1
TEL 0493-56-2651
文責：校長 西谷

2月お話朝会 校長の話

お相撲の初場所（1月場所）が1月26日に終わりました。今回優勝したお相撲さんは「徳勝龍」というお相撲さんです。お相撲さんには「番付」という強さを表す位があります。一番強いのは「横綱」二番目に強いのは「大関」そして「関脇」「小結」「前頭」と続きます。前頭は一枚目（筆頭）から十七枚目まであります。前頭の下には十両という位があり、一枚目（筆頭）から十四枚目まであります。勝てば勝つほど、強ければ強いほど上の位に上がっていきます。

	東	西	合計	
横綱	1人	1人	2人	幕内 関取
大関	1人	1人	2人	
関脇	1人	1人	2人	
小結	1人	1人	2人	
前頭	17人	17人	34人	
十両	14人	14人	28人	
幕下	60人	60人	120人	
三段目	100人	100人	200人	
序二段	108人	108人	216人	
序の口	28人	28人	56人	

プロ野球にたとえると、横綱から前頭までの「幕内」と呼ばれるお相撲さんたちは一軍選手。十両のお相撲さんは二軍選手、そして、幕下以下は育成選手ということになります。

今回優勝した徳勝龍というお相撲さんは前頭の一番下の十七枚目で、勝ったり負けたりしていて、前頭と十両を行ったり来たりしているお相撲さんだったそうです。プロ野球でいえば一軍と二軍を行ったり来たりしている選手。そんな感じです。しかも33歳。お相撲さんとしては決して若くありません。体力の衰えを感じてやめていく人も出てくる年代です。

このような状況でも、あきらめることなくこつこつと稽古（練習）を重ねてきました。その結果が、今回の優勝です。横綱が2人とも休んではいるものの最後は一番上の位の大関を力相撲で破っての14勝1敗というのはすばらしい成績です。「もう33歳ではなく、まだ33歳」「次の場所、笑われないようにがんばります」とやる気満々です。徳勝龍関のようにあきらめずにこつこつと努力を重ねると、いつか結果となって表れるのですね。みなさんもつらいなと思うことがあってもあきらめずにこつこつと努力を重ねてください。

2月 行事予定

4(火)	3年社会科見学(消防署)
5(水)	お話朝会 読み聞かせ
6(木)	委員会活動
7(金)	学校評価懇話会
8(土)	10代からのメッセージ
11(火)	建国記念の日
12(水)	音楽朝会 中学生社会体験チャレンジ① 授業参観・懇談会(なかよし・あすなる)
13(木)	中学生社会体験チャレンジ② 授業参観・懇談会(4・5・6年)
14(金)	中学生社会体験チャレンジ③ 授業参観・懇談会(1・2・3年)
19(水)	クリーンタイム(縦割り) ふれあい弁当
20(木)	幼稚園との交流会 クラブ活動(3年見学)
23(日)	天皇誕生日
24(月)	振替休日
26(水)	児童集会(縦割り)
27(木)	3年社会科見学(駐在所) クラブ活動 町P役員会(18:00~19:00)
28(金)	さわやか相談員来校

2月の生活目標 ていねいな言葉づかいをします。

		小2	小3	小4	小5	小6
⑦ていねいな言葉づかい	県			87.4	86.5	88.0
	町			86.7	86.5	89.4
	福小	93.8	88.0	85.7	93.8	90.9
⑧やさしい言葉づかい	県			85.0	83.9	84.0
	町			87.7	81.9	83.2
	福小	93.8	92.0	85.7	96.9	77.3

これは4月に行われた埼玉県学力・学習状況調査質問紙の「規律ある態度」のうちの「ていねいな言葉づかい」「やさしい言葉づかい」の結果です。6年生の「やさしい言葉づかい」がやや低いのが気になりますが、多くの児童がていねいな言葉づかいを意識していることが見て取れます。

学校でも子供たちの言葉づかいについてはさまざまな場面で指導を行っています。ご家庭でもぜひお父さんお母さん方も「ていねいな言葉づかい」「やさしい言葉づかい」を心がけ、ご指導よろしくお願ひします。

人権教育の取り組み

昨年度も学校だよりで紹介しましたが、滑川町は平成30年度から3年間、文部科学省及び埼玉県教育委員会より「人権教育総合推進地域事業」の委託を受けて人権教育に取り組んでいます。この「人権教育総合推進地域事業」は学校、家庭、地域社会が一体となり、人権教育の総合的な取組を教育委員会と連携・協力し推進するものです。地域全体で人権意識を培うための人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にされた教育の充実を図るものです。

子供たちの人権に関する知識や人権感覚についての育成状況を定量的に把握するために、人権学習に関わる質問紙調査を5月と1月の2回行っています。質問紙調査は、人権教育の目標達成に必要な「知識」「価値・態度」「技能」の観点と人権感覚育成のための9つの視点を盛り込んでいます。この「知識」「価値・態度」「技能」とは、例えば「乗り物で席を譲る場面」で考えると…、「知識」；「席を譲る」意味を理解している、「価値・態度」；席を譲ろうと思える、「技能」；具体的にどう支援(声かけ等)し行動したらよいか判断できる、ということです。9つの視点というのは表の中の<>で示されているものです。「技能」についての調査結果を以下に載せます。

人権学習に係る質問紙 2019

No.	し つ も ん	1年		2年		3年	
		技能		技能		技能	
		1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
(1)	友達の気持ちを考えることができます。 <人間の尊厳・価値の尊重>	100.0%	94.1%	74.2%	87.5%	88.0%	96.0%
(2)	命は、温かいものだとかんじます。 <生命の尊重>	100.0%	94.1%	90.3%	96.9%	96.0%	96.0%
(3)	自分のよいところを言うことができます。 <自己尊重の感情>	100.0%	94.1%	71.0%	56.3%	72.0%	92.0%
(4)	友達と、仲良く生活することができます。 <共感と連帯感>	100.0%	100.0%	93.5%	93.8%	96.0%	96.0%
(5)	誰とでも同じように、協力することができます。 <公平・公正>	100.0%	100.0%	83.9%	87.5%	96.0%	96.0%
(6)	違う考えの友達とも仲良くすることができます。 <多様性の尊重・共生>	100.0%	94.1%	83.9%	87.5%	100.0%	100.0%
(7)	自分の考えを、分かりやすく友達に伝えることができます。 <コミュニケーション能力>	100.0%	100.0%	80.6%	71.9%	76.0%	84.0%
(8)	係の仕事を、最後までやりきることができます。 <権利と責任>	100.0%	94.1%	90.3%	84.4%	92.0%	96.0%
(9)	この学級をよりよくするために、友達と協力することができます。 <参加・参画>	100.0%	100.0%	90.3%	90.6%	96.0%	100.0%

No.	し つ も ん	4年		5年		6年	
		技能		技能		技能	
		1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
(1)	友達の気持ちを考えることができます。 <人間の尊厳・価値の尊重>	90.0%	87.1%	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%
(2)	人や動物の生命のぬくもりを感じることができます。 <生命の尊重>	93.3%	93.5%	96.9%	96.9%	100.0%	100.0%
(3)	家族や友達に大切にされている自分に気づくことがあります。 <自己尊重の感情>	96.7%	87.1%	93.8%	93.8%	100.0%	100.0%
(4)	誰とでも同じように、協力して取り組むことができます。 <共感と連帯感>	100.0%	93.5%	96.9%	96.9%	95.7%	100.0%
(5)	誰に対しても公平です。 <公平・公正>	96.7%	90.3%	93.8%	93.8%	95.7%	91.3%
(6)	人や物事をいろいろな点から理解しようとしています。 <多様性の尊重・共生>	96.7%	93.5%	93.8%	93.8%	95.7%	91.3%
(7)	友達との学び合いを大切にしながら、物事を進めることができます。 <コミュニケーション能力>	100.0%	93.5%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%
(8)	自分の役割を責任をもってやりとげることができます。 <権利と責任>	96.7%	90.3%	100.0%	93.8%	100.0%	100.0%
(9)	よい学級をつくるために、友達と協力することができます。 <参加・参画>	100.0%	93.5%	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%

※数字は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

1年生は5月は入学してまだ間もない時期で、担任の話を聞きながら○を付けるので全項目「できます」になっています。(3)の<自己尊重の感情>については低学年と高学年で質問内容が違っているので、低学年は低めになっています。また、(7)の<コミュニケーション能力>も低めになっています。これらを高めるために「福田小のすてきさん発見」という取組を行っています。これは心温まる言動を受けたら、そのすてきな友達の言動を書いて職員室前廊下に貼り出す取組です。お昼の放送で紹介もしています。このほかにも「人権感覚育成プログラム」を使った学級活動の授業や道徳の授業など、さまざまな教育活動を通して子供たちの人権意識を培っています。